



# 二小だより

令和3年4月6日

武蔵村山市立第二小学校 4月号

【第二小学校ホームページ】**※更新中**

<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/mmced2s/index.html>

## 生き生きと学び、明るく輝く学校に向けて

校長 井口 洋

お子様の御入学・御進級を心よりお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。

このび4月1日付けで、練馬区立上石神井小学校より、武蔵村山市立第二小学校に校長として着任いたしました井口 洋(いぐち ひろし)です。中村 清敬前校長の後を受け、第二小学校の伝統を受け継ぎ、力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、本校は、新1年生65名が加わり、全校児童385名で令和3年度をスタートしました。私を含めて新しい職員も着任し、今、学校は新鮮な空気に満ちあふれています。本年度、全ての子どもたちが、明るく元気に楽しい学校生活が送れるよう、学校の全職員がそれぞれの持ち場で責任を果たすとともに、一致協力して事にあたっていきたくと決意しております。皆様の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以前、同僚から聞いた話です。彼は、教育実習を自分の出身地である小さな町の小学校で行いました。実習も終わりに近づいた頃、校長先生から「小学校時代に教わった先生は誰ですか。」と聞かれたので、「〇〇先生です。」と答えると、「なるほど」とうなずいたそうです。そして、「君の実習日誌を読むと、漢字や仮名遣いなど基本がしっかりしている。」とほめられました。彼は、小学校時代のことはほとんど忘れていたのですが、そのことを通して、小学校教育の大切さを感じることができたと話してくれました。

彼のように、小学校で勉強したことは思い出せないことも多いと思います。でも、小学校時代に学んだ学習や生活の基礎・基本は、土台となって、その人をしっかり支えていると言えるのではないのでしょうか。現在も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教育活動にも制限が生じることが多々あるかと思いますが、本年度も、日々の授業を大切にして、基礎・基本の定着を確実に図っていきます。そして、子供たちが、将来思う存分自分の力を発揮できるように、その土台作りを行っていきたくと考えています。

年度の初めにあたり、本年度の教育目標と重点目標として以下の3つを掲げました。

- 物事をよく考え、向上しようとする子供(考える子)【重点目標】
- 豊かな心をもった思いやりのある子供(やさしい子)
- 体を丈夫にし、物事を根気強くやりとげる子供(つよい子)

子供たちが生きていくにあたって、基本・基本となる大切な目標です。しっかりと取り組んでいきます。

